

Innovation for Continued Growth

expected role of Information Technology and Knowledge management

Hisayoshi Fuwa

Corporate Vice President

Corporate Strategic Planning

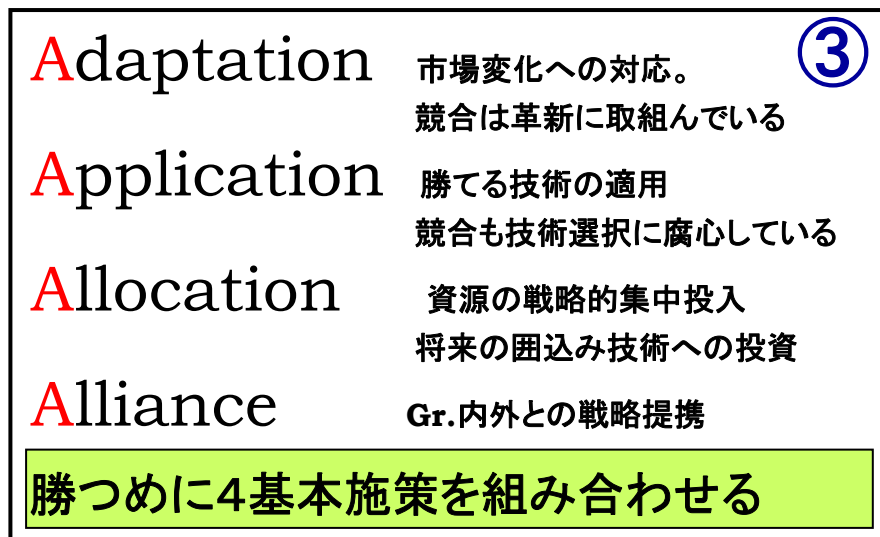
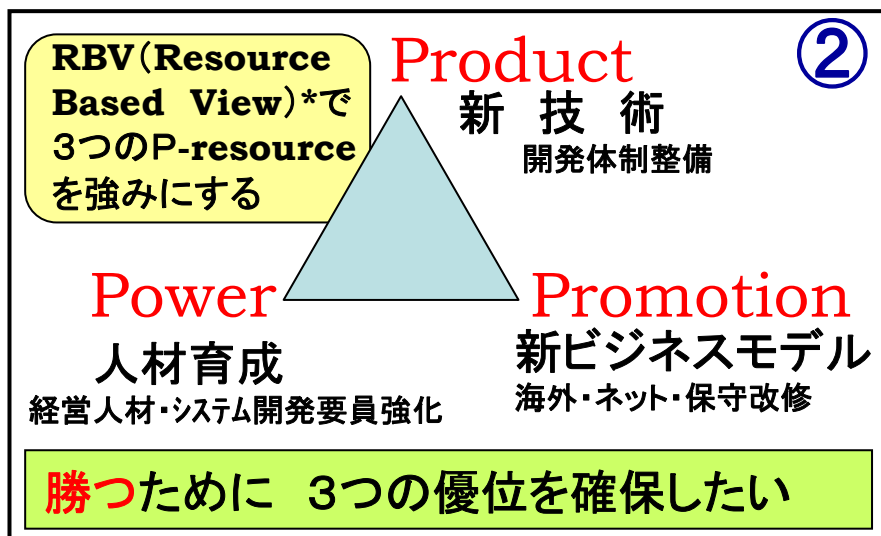
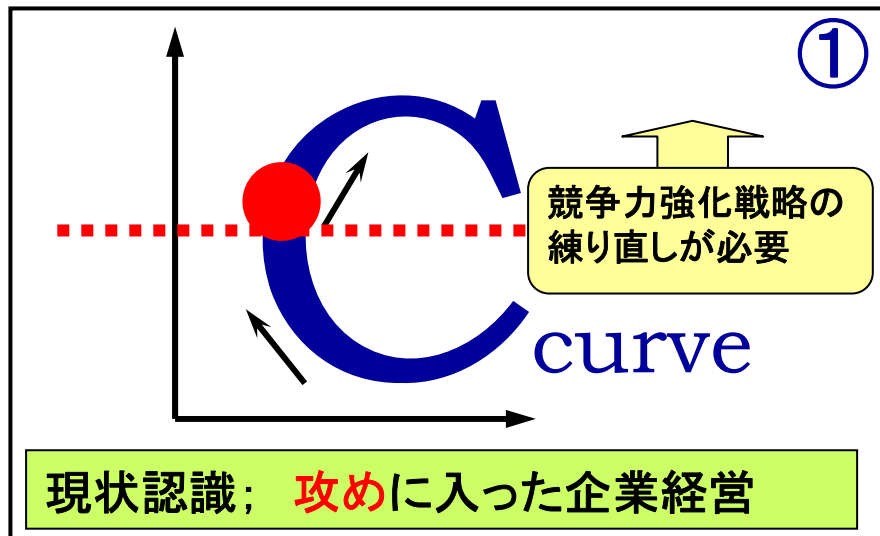
Toshiba Corporation

July 25, 2006

イノベーションに重要な役割を期待する理由

①

長い停滞期を脱して、持続的成長へ巨額の資源投入を必要とする企業は事業ポートフォリオと共に
現有資源の効率性も重要経営課題と認識している。



持続的成長のための2つのイノベーション

②

急速にコモディティー化してゆく商品も「低価格」・「機能追加」・「デザイン(感性品質)」を追求して設計・生産・調達・営業(含 物流)の各領域で効率化・加速をはかる。中期戦略の達成には本来の新価値創造のためのイノベーションを起こす。

コモディティー商品

脱コモディティー商品

市場シェアと利益
を生むために
やり方を抜本的
に変える

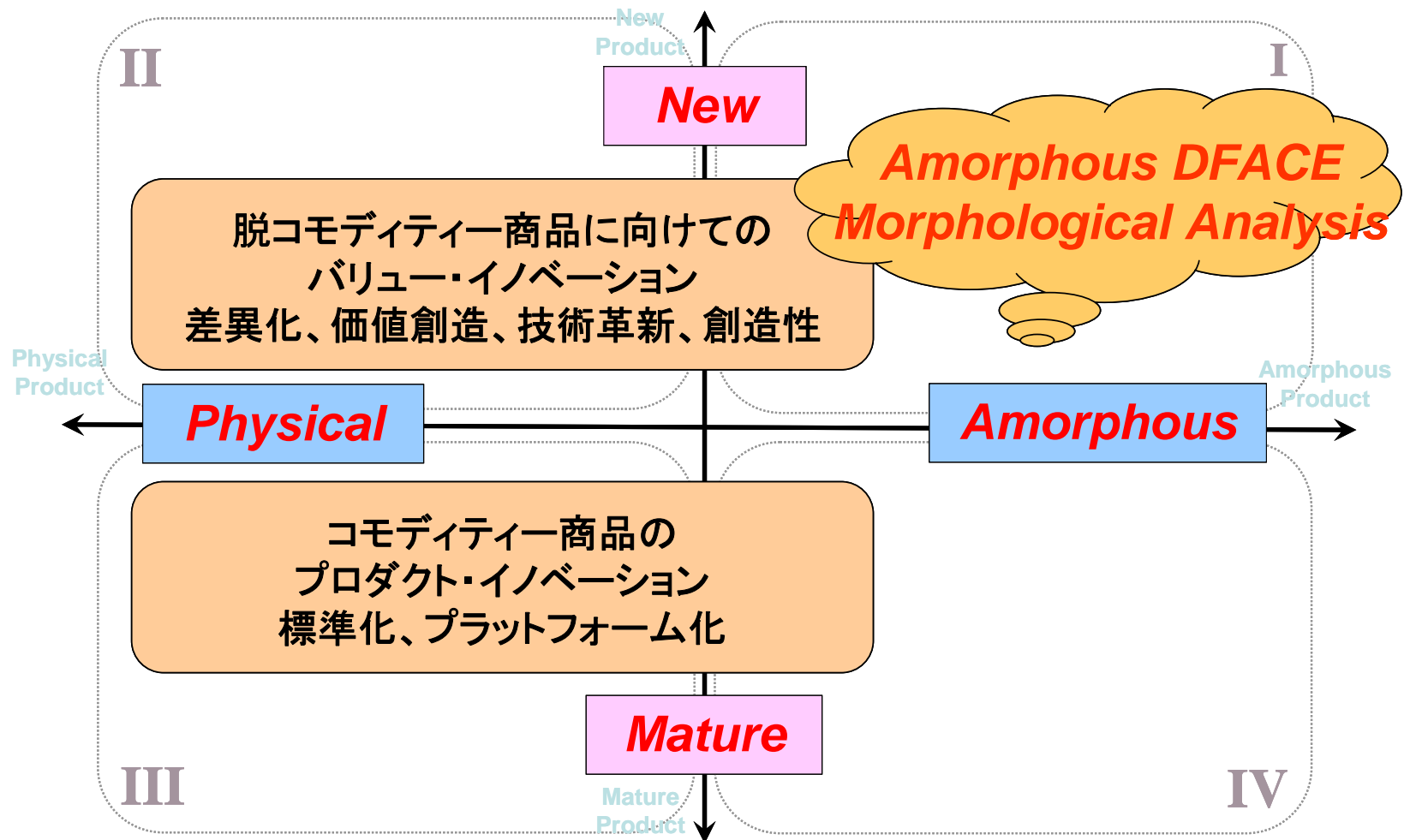
全く新しい
価値を提供し
成長する

ヴァリュー
イノベーション

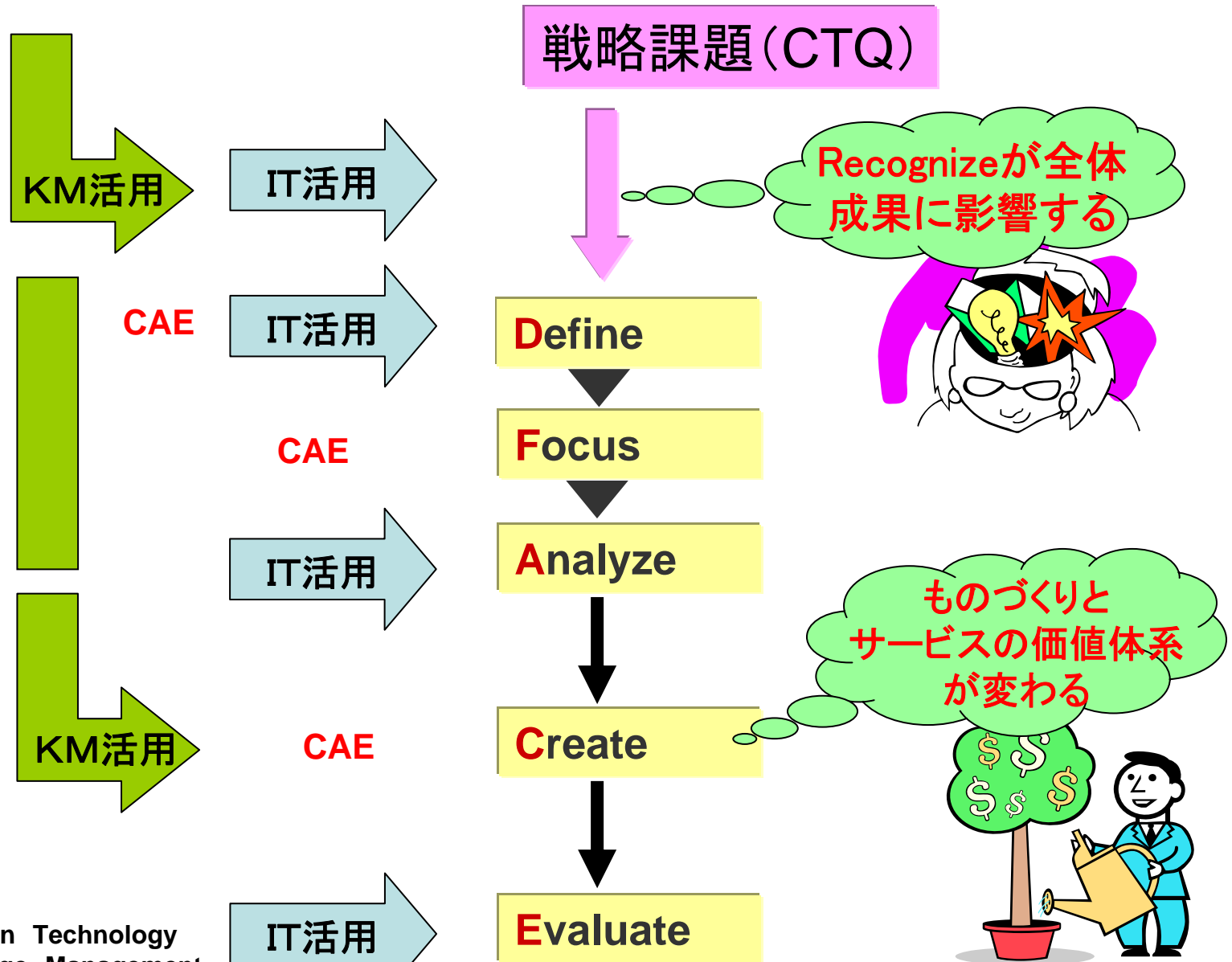
プロセスイノベーション (個別イノベーションの相乗効果が鍵)

製造業もサービスのイノベーションに注力する ③

製造業も「安全」・「安心」・「信頼」の視点で価値をあげようとサービスのプロセス改善のイノベーションに注力している。効率向上とサービスの質を改善するという二律背反の課題解決に取り組んでいる。



イノベーションにおけるITの活用



IT: Information Technology
KM: Knowledge Management
CAE: Computer-aided Engineering

イノベーションを起こすKMの活用

5

持続的成長を実現するには、イノベーションを次々と起こし、これを実行するための組織力が必須。低成長期の知識・経験をいったん壊して再構築することが必要。いまあらためてKnowledge Managementの有効性を評価し、活用することが重要な鍵。



新たな金のなる木を
見つけ出す

Value Creation !



創造性の芽を育て
活性化し表出させる

Motivation !



高いところの実を
摘み取る

Stretch !



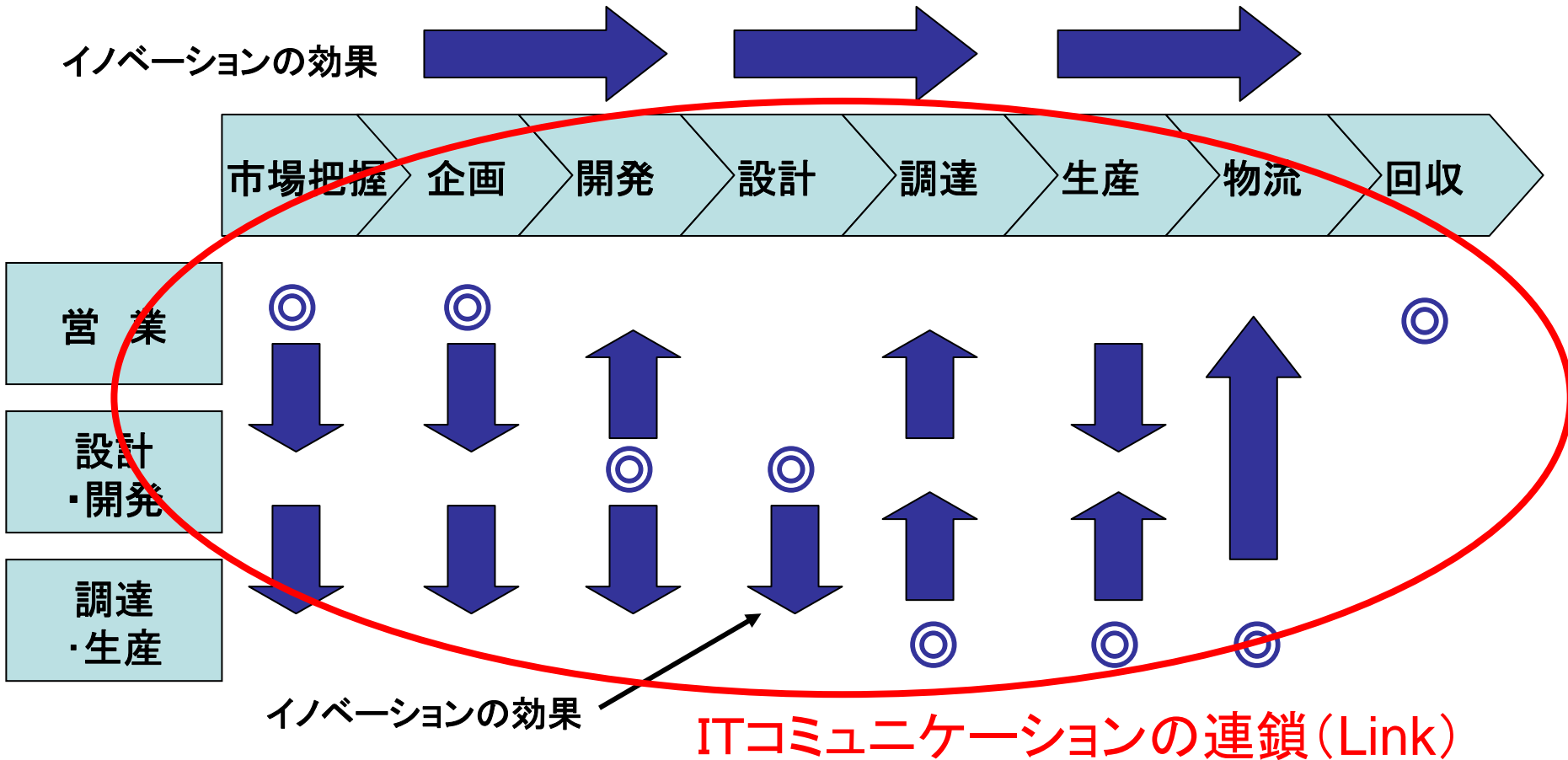
はるかに見える山
の頂上を目指す

Jump !

イノベーションにおけるIT、KMの活用

6

↓ イノベーションの効果は、Valuechainに沿って波及する。一方営業、技術、生産などの専門知識・経験は個別体系をつくり上げ、個別最適化を目指したイノベーションを推進する。全体最適化には関係部門相互のコミュニケーションをITで構築する必要がある。



おわり

ご清聴にお礼申し上げます。
